

# お口爽やかですか

テーマ 上川中部地域歯科保健推進協議会総会  
特別研修会

## 推協、新組織で8020運動を推進

去る4月25日、上川中部地域歯科保健推進協議会（略称は推協）の総会が、旭川歯科医師会館で開催されました。推協とは8020運動を推進する協議会で、上川中部地域の1市8町の行政、民間団体33団体が加盟しています。

8020運動とは、最低20本の歯が残っていていれば、たいいてい食物が食べられることから、一生涯（80歳）自分の歯を残すために必要な施策をしようという運動です。現在、上川中部地域は全国平均より良い状況にあるが目標の半分に届いていません。

この度の総会で推協は規約改正をし、抜歯原因の9割を占める「むし歯」「歯周病」の二大疾患の予防対策に焦点を当てた組織編成にしました。「むし歯予防・食育普及委員会」「歯周病予防・口腔ケア普及委員会」

「歯の健康づくり広報委員会」という委員会の名称から三委員会の目的が理解できま

す。また、今回は役員改選期であり、会長に岩田谷隆氏（旭川歯科医師会会長）ほか全役員を承認しました。新三委員会の委員長には、梅田楷宗氏、小宮倉定男氏、今富取治氏が就任され、今後加盟団体から推薦された委員とともに実効ある施策の推進を期待しています。

**歯磨きだけでむし歯は予防できない**

**キシリトールは追加型むし歯予防薬なので注意**

千葉教授講演

さて、総会後に特別研修会があり、上林宏次氏（旭川市保健所公衆衛生総括主幹）が「健康日本21旭川計画の中間評価を踏まえた今後の歯科保健の展開」を解説、柏木氏（北海道上川

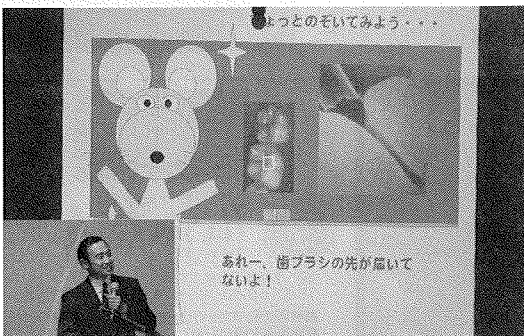
保健所）から地域報告があり、いずれも今後の活動に大変参考になるものでした。

最後に、千葉逸郎氏（北海道医療大学歯学部教授）が「むし歯にならない食べ方、噛む大切さ」という自作のマンガ絵を使って、多因性の疾患であるむし歯の成立過程を判りやすく解説されました。

その中で、「極細でも歯ブラシの毛の太さが顕微鏡で見ると歯の溝よりかなり大きいので、溝の中の細菌や汚れを落とせない。そのような理由で、歯磨きだけでむし歯は予防できない」「現在キシリトールが広く使われるよさになり、『キシリトールの摂取がむし歯を防ぐ』など、一部に誤った、あるいは行き過ぎた認識がされているようです。キシリトールを用いたむし

歯予防法は追加型むし歯予防法と呼ばれるもので、歯みがきやフッ素応用、適切な食生活や定期的歯科検診に取って替わるものではない、効果を高めるための材料なのです」と解説。

最後に「歯科疾患と全身との関係は深く歯科疾患を予防し、良く噛むことが健康に大切」と話されました。



講演する北海道医療大学千葉逸郎教授